

# 順位決定ルール

『コンプリート方式©』

『The Complete Method©』

SGR LLC (合同会社SGR)  
著作権運営担当

# ゴルフ規則について

ゴルフ規則の正式な国際ルールは現在、  
スコットランド・セントアンドリュースに本拠地を置く「The R&A」と  
アメリカ合衆国ニュージャージー州リバティーコーナーに本拠地を置く  
「USGA」が制定し、解釈などを世界的に管轄

# 現在の順位決定ルール

- 18ホール通してのストローク数によるランキング
- 同順位タイのタイブレイクに関する内容は規定されていない
- 国内外におけるツアートーナメントの優勝者を決定する際のタイブレイクは、プレーオフの実施が通例となっている

# 当社が提唱する順位決定ルール

18ホール通してのストローク数が同数で並んだ場合、15の要素により比較し順位決定を行う

## 【順位決定ルール『コンプリート方式◎』】

1. 18ホールストローク数 グロスによる比較
2. グリーン上でのパッティング数
3. OB (Out Of Bounds) 数
4. RPA (Red Penalty Area) 数
5. Hole in One数
6. Albatross数
7. Eagle数
8. Birdie数
9. Par数
10. Bogey数
11. Double Bogey数
12. Triple Bogey数
13. +4以上の各スコアでのホールアウト数を昇順比較
14. バンカーショットの数
15. 最終ホールからスタートホールまでカウントバック

※上記の好スコア順で順位を決定し、同ルールで順位に優劣がつかなかった場合、プレーオフによる順位決定

※プレーオフにおいても上記ルールで順位決定をする方式

※プレーオフ以降、順位が決定するまで繰り返し

※本方式を採用することで同順位タイがなくなり、全選手の順位を決定することが可能

(作成日：2026/2/12、改定日：2/19-2/25)

(※上記ルールは著作権として全ての知的財産権は当社の権利に帰属します)

(※ルールの部分的な改編を含め著作権及び著作人格権の侵害が判明した際は、法的措置を講じることがあります)

# ツアーでの導入

(1 DAYトーナメント)  
コンプリート方式©により順位決定

(2 DAYトーナメント)  
初日予選の場合  
①コンプリート方式©により順位決定し、カットラインにより予選通過選手を決定  
②本選においてもコンプリート方式©を用いて順位決定

(3 DAYトーナメント)  
①予選2日間の合計数をコンプリート方式©により順位決定  
②カットラインにより予選通過選手を決定  
③本選においてコンプリート方式©を用いて順位決定

(4 トーナメントDAY)  
①予選2日間の合計数をコンプリート方式©により順位決定  
②カットラインにより予選通過選手を決定  
③本選において、2日間の合計数をコンプリート方式©により順位決定  
④カウントバックを用いる際は、最終ラウンドの18番ホールから計算し、初日ラウンドの1番ホールまでの72ホールを順位が決定するまで比較する。  
※上記により決着がつかない場合はプレーオフを実施  
※プレーオフにおいてもコンプリート方式©により順位決定

# 想定問答

Q.バンカーに入った数ではなく、バンカーショットの数で比較する理由は

A.バンカーの中にウォーターハザードが出来た際に、救済措置として2打罰でバンカーの外から打てるケースを反映するため。1打罰でバンカー内の打てる箇所を選択した場合はカウントする。バンカーに入れた数だと救済を反映できない。バンカー内のウォーターハザードの救済を受け、バンカーの外から打つことを選択した選手は、ペナルティにより2打罰となった後、バンカーに入れた選手と比較されることになる。そのため、そのバンカーにウォーターハザードがなかった場合、ストローク数でペナルティの打数分、アドバンテージを取っていることになり、それを反映させるためにバンカーショット数をカウント要素としている。

Q.バンカーショット数をペナルティの次ではなく、スコア比較の後に追加している理由は？

A.バンカーショット自体はペナルティではないため。各ホールのアンダーパーや、ボギー以上の比較を優先的に適用するため。

Q.カウントバックをストローク数の次に適用しない理由は

A.カウントバックを実施することにより決着が付く可能性が高まるが、ペナルティ数やバーディ数、イーグル数など複数の様々な要素を順位決定に影響させるため。最終的にはカウントバックによる比較、プレーオフの実施は行う。

Q.誤球は追加しないのか

A.比較する要素として採用しているペナルティはOB・とRPAのみ

その他のペナルティに関しては枚挙に暇がなく、アマチュア向けに導入する際のカートでのスコア入力時も煩雑となる。また、全てのペナルティを比較しても、プレーオフに進む可能性はなくすることができない。

# 具体的事例

ストローク数 74

バンカーに入った数 1

## バンカー内の処置

### 選手A

⇒ウォーターハザードにより2打罰でバンカー外の打てる箇所からのショット

### 選手B

⇒通常は無打罰でのバンカーショット

この場合、『コンプリート方式©』を適用すると  
選手Aが上位となる

※バンカーに入った数を比較要素とすると同順位となるが、  
バンカーショットの数を比較要素とすると、選手Aの勝ちとなる

※選手AはウォーターハザードがなければParプレーだった可能性があるが、  
選手Bはウォーターハザードがなく通常のバンカーでストローク数が74という結果

以下のケースでは、従来のルールであれば同順位タイとなるが、『コンプリート方式◎』を用いることにより順位を決定することができる。

事例1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	前半	10	11	12	13	14	15	16	17	18	後半	合計
Gross A	-	-	-	-	-	-	-	-	○	36	-	-	-	-	-	-	-	-	△	36	72
PT A	2	2	2	2	2	2	2	2	1	17	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18	35
Gross B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	72
PT B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18	36

1. ストローク数 同数
2. パッティング数 (A=35) < (B=36) Aが好スコアのため上位者  
(※OB・RPA数は同じ)

事例2

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	前半	10	11	12	13	14	15	16	17	18	後半	合計
Gross A	-	-	○	△	-	○	-	-	○	34	-	-	-	-	○	-	-	-	△	36	70
PT A	2	2	1	2	2	1	2	2	1	15	2	2	2	2	2	2	2	2	3	19	34
OB A	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
Gross B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	35	○	-	-	-	△	-	-	-	○	35	70
PT B	2	2	2	2	1	2	2	2	2	17	2	2	2	2	2	2	2	2	1	17	34
OB B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1

1. ストローク数 同数
2. パッティング数 同数
3. OB数 (A=2) > (B=1) Bが好スコアのため上位者

## 事例3

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	前半	10	11	12	13	14	15	16	17	18	後半	合計
Gross A	-	-	○	-	-	△	-	-	○	35	-	-	-	-	-	-	-	-	△	37	72
PT A	2	2	1	2	1	2	2	2	1	15	2	2	2	2	2	2	2	2	3	19	34
OB A	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
RPA A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
Gross B	-	-	△	-	○	-	-	-	-	36	-	-	-	-	△	-	-	-	○	36	72
PT B	2	2	2	2	1	2	2	2	2	17	2	2	2	2	2	2	2	2	1	17	34
OB B	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
RPA B	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2

1. ストローク数 同数
2. パッティング数 同数
3. OB数 同数
4. RPA数 (A=1) > (B=2) Aが好スコアのため上位者

## 事例4

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	前半	10	11	12	13	14	15	16	17	18	後半	合計
Gross A	-	-	○	△	-	○	-	-	○	34	-	-	-	-	-	-	-	-	△	37	71
PT A	2	2	1	2	2	1	2	2	1	15	2	2	2	2	2	2	2	2	3	19	34
OB A	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
RPA A	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
Gross B	-	-	-	-	○	△	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	○	35	71
PT B	2	2	2	2	1	2	2	2	2	17	2	2	2	2	2	2	2	2	1	17	34
OB B	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
RPA B	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2

1. ストローク数 同数
2. パッティング数 同数
3. OB数 同数
4. RPA数 同数
5. Birdie数 (A=3) > (B=2) Aが上位者

# 業界団体

公益財団法人日本ゴルフ協会 (JGA)

(JAPAN GOLF ASSOCIATION)

公益社団法人日本プロゴルフ協会 (JPGA)

(THE PROFESSIONAL GOLFERS' ASSOCIATION of JAPAN)

一般社団法人日本ゴルフツアー機構 (JGTO)

(JAPAN GOLF TOUR ORGANIZATION)

一般社団法人日本女子プロゴルフ協会 (JLPGA)

(Japan Ladies Professional Golfers' Association)

全米ゴルフ協会 (USGA)

(United States of Golf Association)

## 【提言時系列】

[2026年]

2月19日

JGA、JPGA

2月21日

JLPGA

2月25日

JLPGA、JPGA、JGTO、USGA

2月20日

JLPGA

2月24日

JLPGA、JPGA、JGTO

2月28日

JLPGA、JGTO

# 今後の予定①

2026年

□ 4月初旬 - 6月下旬

1. 『コンプリート方式◎』を採用したリーグ形式のゴルフ  
トーナメントの開催及び運営を目的とした法人設立に向けた準備

「一般社団法人日本ゴルフリーグ連盟」

「一般社団法人日本女子プロゴルフリーグ連盟」

「一般社団法人日本プロゴルフリーグ連盟」

2. 競技導入に向けた動き

「東北ゴルフ連盟」 「関東ゴルフ連盟」 「中部ゴルフ連盟」

「関西ゴルフ連盟」 「中国ゴルフ連盟」 「四国ゴルフ連盟」 「九州ゴルフ連盟」

及び各都道府県におけるゴルフ連盟若しくはゴルフ協会への普及活動

3. ゴルフ場での導入に向けた動き

カーナビシステムの集計ロジック改修及びスコアデータ集計

ゴルフリーグ連盟のWEBサイトでのランキング表示

□ 7月上旬 - 9月下旬

同ルールを用いたゴルフ番組の収録

①リーグ形式ゴルフトーナメント

②検証対決 (JLPGAプロvs宣言プロ)

□ 10月頃

同ルールを用いたゴルフ番組の放送予定

## 今後の予定②

□11月頃

全米ゴルフ協会（USGA）へ国内の進捗状況を報告

□ 12月頃

The R&Aへ全米ゴルフ協会（USGA）との協議結果報告  
及び『コンプリート方式©』の国際ルール導入を提言

2027年

□ 4月中旬-6月下旬

主要国への『コンプリート方式©』普及活動

□ 7月上旬-9月下旬

JOCと協議開始

IOCへオリンピック競技での導入を提言